

まこと通信

2020
7
Vol.85

一般質問

麻しん・風しんワクチン接種率
全市町村95%超の数値目標へ

麻しん・風しんは、新型コロナウイルス感染症と同じくウイルスで感染する病気ですが、いずれもワクチン接種によって抗体をもち、終生感染しないとされています。

そのため、先進諸国は麻しん・風しんのいずれも排除されていますが、日本は風しんについて今も排除国に認定されておらず、福岡県も昨年は85人の患者が発生しています。

麻しん・風しんワクチン（以下MRワクチン）については第1期（満1歳台）、第2期（5歳以上7歳未満で次年度に小学校に入学する子ども）の接種率がいずれも95%以上必要だとされています。福岡県全体では、いずれも95%以上を達成していますが、市町村別にみると、60市町村中第1期では18自治体、第2期では26自治体が95%を下回っています。

私は、県内の市町村すべてにおいて接種率95%以上を目指すべきだと訴えました。知事は「実施主体である市町村のそれぞれが95%以上を目標に取り組んでいくことが必要である」と述べ、「それぞれの市町村で接種率が95%以上になるよう支援していく」と、市町村の全てで95%以上にするための取り組みを推進することに言及しました。



飛沫感染予防のため、今定例会からアクリルボードが置かれるようになりました。

県職員抗体検査対象者
全員検査の実施へ

風しんの予防接種を公的に受ける機会がなかった1962年4月2日から1979年4月1日までの間に生まれた男性を、国は新たに風しんの定期接種対象者とし、原則無料で定期接種できる仕組みが昨年より開始されました。対象者にはクーポン券の郵送も順次実施されています。

特に推進が求められている県職員については、対象者2500人全員の抗体検査を実施すべきと訴えました。知事は「今後は、約2500人の対象職員全員が、令和3年度までに検査を完了するよう促進する」と述べ、全員の抗体検査受検を把握し、促すことを明言しました。

麻しん風しん接種率の現状

※第1期（満1歳台）第2期（5歳以上7歳未満で次年度に小学校に入学する子ども）

	第1期	第2期
福岡県	101.0%	95.2%
田川市	95.9%	94.5%
香春町	91.8%	88.8%
添田町	119.0%	98.4%
糸田町	84.9%	83.0%
川崎町	88.6%	93.1%
大任町	82.6%	87.8%
赤村	76.2%	93.1%
福智町	89.2%	83.0%

※対象人口は各年度に新規に予防接種対象者に該当した人口であることにに対し、実施人口は各年度における接種対象者全体の中の予防接種を受けた人員であるため、実施率は100%を超える場合がある。

佐々木は
こう思う

田川地域の接種率は低い
市町村と連携し対策強化を

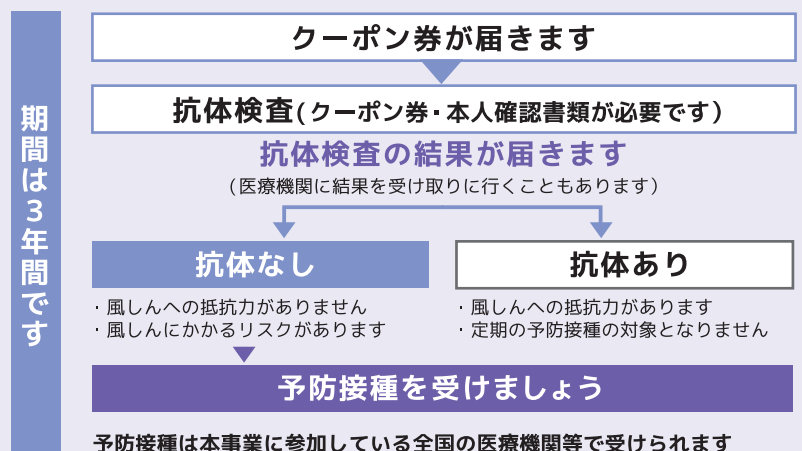


田川地域において、目標としている接種率95%超を達成している自治体は、8自治体中、第1期が田川市と添田町、第2期が添田町のみであり、地域医療圏毎に見ても、際だって接種率が低い状況が続いています。もし、麻しん・風しんが田川地域に流行すると極めて危険な状況になるのは明らかです。

麻しん・風しんは、感染力が極めて高い上に、妊婦が風しんに罹患した場合、胎児は「先天性風しん症候群」を発症し、難聴や白内障、先天性心疾患などになってしまうリスクがあります。

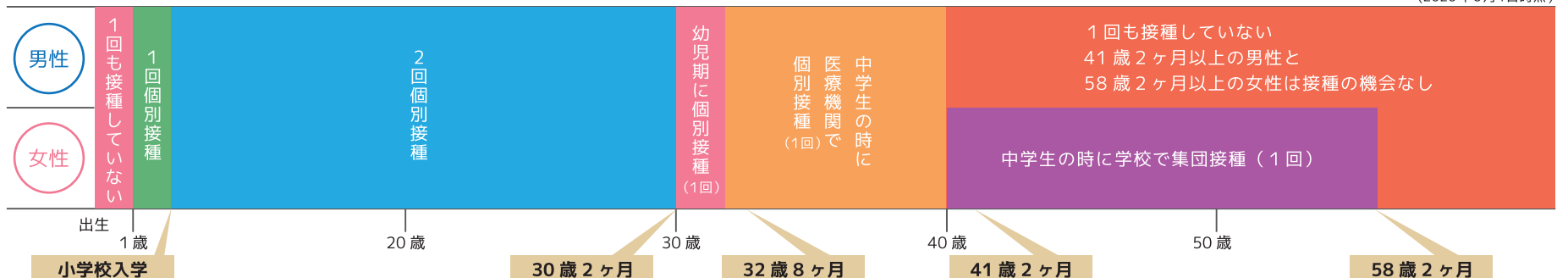
新型コロナウイルス感染症でウイルスの危険性に対する認識が高い今だからこそ、ワクチン接種をしていないと思われる方は、積極的に抗体検査を行って頂きたいと思います。

抗体検査・予防接種までの流れ



風しんワクチンの定期予防接種と年齢の関係

風しんワクチンの予防接種の状況 国立感染症研究所感染症疫学センター「首都圏における風しん急増に関する緊急情報を基に作成 (2020年6月1日時点)」



国道322号香春大任バイパス 7月19日15時～開通へ！

一般国道322号香春大任バイパス



北九州地域から香春町を抜け、大任・香春・田川市、そして嘉麻市に抜ける「一般国道香春大任バイパス」が7月19日に開通を迎えることになりました。また、この日は記念式典も予定されています。

この道路は、1997年度から工事が着手されましたが、土地の確保などで予定以上の時間がかかったため、22年たった今年、ようやく完成を迎えます。

特に上田川地域から行橋・北九州に向かう方は、途中の交通渋滞に巻き込まれないまま行くことができ、通行時間が大幅に短縮されると思います。また、嘉麻市～朝倉市を貫く「八丁トンネル」が完成し、北九州から県南地域を貫く道路として物流面でも大きく貢献できると想定されます。

一般的に、県が整備する新規道路で、延長が10kmを超えるものは、ほとんどありません。大工事を完了させた関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。今後、同路線の4車線化工事にも着手します。地域の環境改善・経済活性化に寄与するため私もしっかりとがんばります。

大任町付近



田川地域の道路環境整備充実を 県土事務所・県土整備部に陳情

田川地域の多くの主要道は県が管理する道路です（国が直接管理する道路は201号線のみです）。日頃から道路整備に関しては、多くの皆さんから要望を頂いています。

今回も、筑豊地区舗装協会の皆さんと一緒に、田川県土整備事務所や県庁県土整備部を訪問し、地域の道路整備の陳情を行いました。

今後の田川市内の道路環境整備には

- 1 田川直方バイパス延伸事業
- 2 中央団地川宮線（大浦地区）道路拡張工事
- 3 田川市東町交差点改良・歩道設置工事
- 4 後藤寺交差点歩道橋撤去事業

など、多くの事業が行われます。必要な予算をしっかりと確保しながら、安全な道路を維持していくため、活動も強化しています。

田川県土整備事務所でご挨拶をしている様子



新型コロナ 関連対策

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 地元関係者や市町村行政に様々な支援を行いました

対策1 田川市長と意見交換

田川市役所も、新型コロナ対策へ奔走し、また田川市立病院は感染症指定病院として、大変な役割を担いました。

私は発生当初から、二場公人田川市長を始め市役所関係者と意見交換を重ね、情報提供に努めてきました。特に田川市が事業者向けに行った「事業者支援金制度」の原資となる地方創生臨時交付金の獲得には、私もしっかり対応しました。



二場市長と意見交換をしている様子

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

田川市配分	第1次	2億2,585万円	第2次	6億8,918万円
-------	-----	-----------	-----	-----------

対策3 給付金等 補助金獲得支援

国は、新型コロナにより経済的な影響を受けたとして、事業者向けの「持続化給付金」をはじめ、様々な給付金制度を創設しています。しかし、そのほとんどがインターネットでの申請を前提としており、申請方法も難しいため、特に高齢の個人事業主を中心に申請のご相談を受けていました。これまでのべ20件を超える申請のお手伝いを行っています。今後も助成金に関する相談等、親身に対応していきたいと思っています。



助成金の相談に対応している様子

対策2 農業者の支援策 説明会開催

農業、とりわけ観賞用植物や畜産部門においては、新型コロナによって、値崩れが起きるなど深刻な状況になっています。そのため、国や県は緊急対策の補助制度を実施予定であり、私も農家の皆さんと一緒に、補助制度の概要について県農林事務所から説明を受けました。

農業は我々の生活に必須である食料生産を担う重要な産業です。厳しい状況を下支えできるよう、全力でがんばります。



農林事務所の説明会の様子

対策4 建設業界の支援に奔走

新型コロナの影響により、地域経済、とりわけ建設業界には暗い影が落ちかかっています。このような状況を打破するため、福岡県建設労働組合の皆様から「コロナの影響を受ける事業者への直接支援等の要請書」を頂きました。建設業界は、今後発注の延期や中止などにより、仕事が急減する可能性も十分に予想されます。所得補償や、相談窓口の増設、消費税減税など多岐にわたって意見交換しました。



福岡県建設労働組合役員と懇談している様子

田川地域の新型コロナウイルス感染状況

田川地域でも新型コロナ患者発生 適切な情報確保と感染予防の徹底を

7月4日、田川地域において初めてとなる新型コロナウイルス感染症の陽性患者が発生しました(7月7日現在5人)。発生直後から、田川保健福祉事務所より状況報告等を受け、今後の対応などを話し合いました。

接触者と判断された場合は、県からPCR検査のための受診をお願いすることになっています。PCR検査を受診した方は、陰性であっても2週間の自宅待機が要請されます。

個人の特定や、それに伴う誹謗中傷は決してあってはなりません。だれもが感染するリスクのある病気です。感染者の人権に配慮した対応をお願いします。

今後も、田川保健福祉事務所が感染拡大を防止するために全力で取り組みます。皆さんも感染防止に引き続き取り組んで下さい。



田川保健福祉事務所より状況報告を受けている様子

災害に備えよう！避難と土砂災害の基礎知識

災害から避難するタイミング

警戒レベル

避難行動等

避難情報等

警戒レベル5

既に災害が発生している状況です。
命を守るための最善の行動をとりましょう。

災害発生情報
(市町村が発令)

警戒レベル4

速やかに避難先へ避難しましょう。
公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

避難勧告、避難指示(緊急)
(市町村が発令)

警戒レベル3

避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

避難準備・高齢者等避難開始
(市町村が発令)

警戒レベル2

避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。

洪水注意報 大雨注意報等
(気象庁が発表)

警戒レベル1

災害への心構えを高めましょう。

早期注意情報
(気象庁が発表)

＜防災気象情報＞

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報
氾濫発生情報
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報
氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報
氾濫警戒情報
洪水警報 等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

土砂災害の基礎知識

土砂災害は突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして人命や財産を奪ってしまいます。土砂災害の発生を予測するのは困難ですが、発生前には前兆現象が見られる場合があります。

福岡県防災ホームページ 特設サイトより

がけ崩れ・山崩れ

雨水がしみ込んで、やわらかくなった斜面が急に崩れ落ちます。日本で最も多い土砂災害で、人の住む家の近くでも突然起きるため、逃げ遅れて犠牲となる人も多い災害です。

こんな前兆現象に注意！

- がけからの水がにごる。
- 地下水やわき水が止まる。
- 斜面のひび割れ、変形がある。
- 小石が落ちてくる。
- がけから音がする。
- 異様なにおいがする。

地すべり

地盤が弱い土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が、地下水の影響と重力でゆっくり下へ移動する現象です。ひとたび発生すると家や道路、鉄道など広い範囲に被害を与えます。

こんな前兆現象に注意！

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水がふき出す。
- 家やよう壁に亀裂が入る。
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾く。

土石流

長雨や集中豪雨などで、山腹や谷川の石や土砂がいきなり下流へ押し流されます。勢いが強く圧倒的なスピードで、進行方向にあるものを次々とのみ込み、壊していきます。

こんな前兆現象に注意！

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 川の水がにごったり、流木がまざったりする。
- 腐った土のにおいがする。

熊本県人吉市に支援物資を届けました

7月4日に発生した「令和2年熊本・鹿児島大雨災害」では、熊本県を中心に甚大な被害が発生しています。私は、発生当日である4日午後、被害を受けた熊本県人吉市へ、飲料水など支援物資を届けました。

市内中心部では、水道などのインフラが滞っており、なによりも浸水により家財や商売道具の一切が使えなくなって途方に暮れる方々が沢山いらっしゃいました。

今後は、土砂撤去、避難生活での生活面の充実(コロナ対策も含め)などが大きな課題です。引き続き、支援していきたいと思っています。

最も被害の大きかった市内中心部の様子 人吉市内の避難所に物資を届ける様子

Young farmer Introduction

新しい取り組みに果敢に挑戦しようとしている若手農家をシリーズで紹介

若手農家紹介

第3回

新鮮で安全な野菜を届けたい

赤村 鳥越 耕輔さん(39)

[農地面積] トマト・セロリ 1.3ヘクタール / 米・麦・大豆 28ヘクタール
[栽培品目] トマト・セロリ・米・麦・大豆
[主な販路] グリーンコープ・関東圏の生協(有機栽培専門)

赤村で有機栽培のトマトやセロリを栽培している鳥越さんは、なんと元プロボクサー。18年前に赤村へ戻り、お父様の元で農業を始めました。たくさんのお会いの中で農業へのイメージが変わり、『消費者の方に新鮮で安全な野菜を届けたい』とトマト・ミニトマト・セロリの生産に励んでいます。

また外国人技能実習生も積極的に受け入れており、作業場では実習生たちがそれぞれ責任を持って和気藹々と作業をしていたのがとても印象的でした。今後は、技能実習生がいるベトナムへの進出も考えているとのこと。夢を語っている鳥越さんの姿はとても輝いていました。

日田彦山線添田～日田 廃線へ 彦山～宝珠山間「BRT」方式導入

2017年7月5日から6日間にわたり発生した九州北部豪雨によって不通となっているJR日田彦山線添田～夜明駅間（29.2km）について、福岡県の小川洋知事は、彦山駅～宝珠山駅間（14.1km）をバス高速輸送システム（BRT）で復旧することを表明。東峰村、添田町もこの案に合意しました。また、JR九州もこの案に同意する見込みです。

このことを受け、福岡県は東峰村、添田町の地域振興に活用するための基金設置条例と基金10億円を6月定例会に提案。県議会も全会一致で可決成立しました。また、県議会でも各会派の県議会議員によって、地域振興策について議論が交わされています。

事実上、同路線はBRTに転換することが決定しました。

日田彦山線鉄路復興ならず 「災害で廃線」はおかしい

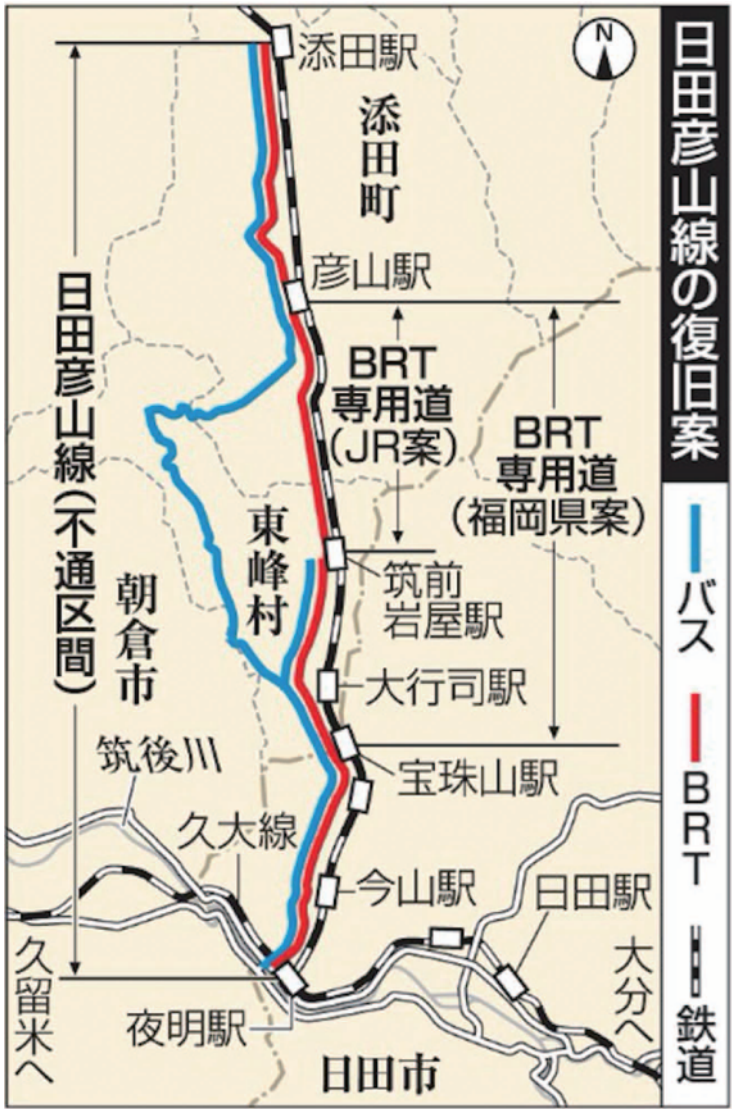
日田彦山線の復旧に関して、私は一貫して「全線鉄道での復旧」を求めて、県議会でもたびたび発言してきました。また、知事の不誠実な姿勢についても追求し、特に住民との直接対話を訴えてきました。

しかし知事は、方針がほぼ固まった後に「説明会」を開くだけにとどまりました。そもそも、当初知事も県執行部も「JR九州を一民間企業と同列には扱えない」とし、鉄道復旧を前提とした議論も進めていました。しかしJR九州が態度を硬化し、結果として県は押し切られた形になってしまいました。同路線は、災害によって不通となっているのであって、災害がなければ、この時期に廃線にはならなかったはずです。災害による廃線を許せば、今後のローカル線廃止の理屈に災害をあげることが可能になります。

田川後藤寺～添田間「盲腸線」に 鉄道維持・活性化へ本腰を

今回の決定に伴い、日田彦山線田川後藤寺駅～添田駅間は、鉄道としてはいわゆる盲腸線（距離が短く、かつ終点が他の路線に接続していない行き止まりの路線のこと）になります。日田彦山線はローカル線の末端区間であり、盲腸線になることで、今後さらに利用者が減少する可能性は大いにあり、同路線の存廃議論にもつながりかねません。

鉄道維持・活性化については、JR九州と我々沿線住民が一体となって取り組むことが必要です。方向性が示された今、地域に愛される日田彦山線づくりに、我々も汗をかかなければならないと思います。



日田彦山線復旧会議におけるこれまでの協議経過等について

開催日時	事象	主な協議内容
2018.4.4	復旧会議（第1回）	・日田彦山線復旧会議の設置 ・鉄道での復旧方策、継続的な運行の確保に関する検討を行うこととした
2018.5.15	検討会（第1回）	・自治体側は、復旧方針が確定した区間から復旧工事に着手するよう主張 ・JR九州は、継続的な運行の確保の議論が完了できないと着手できないと主張
2018.7.20	検討会（第2回）	・福岡、大分の両県から、災害復旧事業を活用することで、復旧額を78億円から56億円まで低減できることを提示 ・沿線市町村からは、継続的な運行の確保をするために、利用促進の具体的取組を行うことを提示 ・JR九州が不通区間の営業赤字2.6億円を公表 ・自治体側、JR九州で、1年以内を目途に議論し、早期着工を目指すことで合意
2018.10.25	復旧会議（第2回）	・冒頭、JR九州社長から、一連の記者会見の発言（鉄道以外のモードの復旧に言及）に対する謝罪 ・年度内に結論をだすことを再度確認 ・鉄道軌道整備法の活用を検討することで合意 ・JR九州が、初めて復旧後の運行経費に関し自治体による財政的な支援を求める（自治体側はJR九州に再考することを要請）
2019.1.16	検討会（第3回）	・JR九州が、復旧後の継続的な運行を確保するための収支改善目標額1.6億円／年を提示 ・沿線自治体の利用促進策の説明がなされ、これによる収支改善額の数値化について引き続き検討することを確認
2019.1.31	検討会（第4回）	・利用促進策にかかる収支改善見込額（JR試算3,812千円～沿線自治体試算25,208千円）であることを確認 ・自治体側は、利用促進策以外の運行支援はできないことを示し、1.6億円／年の再考を要請
2019.3.15	復旧会議（第3回）	・JR九州から改めて、1.6億円／年は鉄道設備の維持費用として必要であることを説明 ・自治体側は、1.6億円／年の自治体負担はできないことを改めて表明し、JR九州に再考を要請 ・継続的な運行の確保に関して、両者の溝は埋まっておらず、引き続き協議を行うことを確認 ・その上で、JR九州としての交通ネットワーク維持の考え方を次回復旧会議で示すことを要請
2019.4.23	復旧会議（第4回）	・JR九州は、自治体に財政支援を求めずに鉄道での復旧方策を見いだせなかったことについて、「申し訳ない」と発言。 ・その上で、1.6億円／年の自治体支援がない限り、鉄道での復旧はできないことを表明 ・このことを踏まえ、JR九州は、鉄道、BRT、バスの3つの復旧案を自治体側に提示 ・自治体側は、鉄道での復旧が望ましいとの考えは変わっていないが、JR九州が示した案について、住民の意見を聞くこととした

開催日時	事象	主な協議内容
2019.6～7	市町村による住民報告会	日田市（6.29）・添田町（7.28）・東峰村（7.30）
2019.8～10	JR九州による住民説明会	日田市（8.6）・添田町（9.13）・東峰村（10.2）
2020.2.12	復旧会議（第5回）	（復旧会議での確認事項） ・鉄道復旧のためには、財政支援を含む年間1.6億円の収支改善がなぜ必要かということについて、JR九州は地元の皆さまに、引き続き、丁寧な説明に努める ・JR九州から新たな復旧案について、地域振興策や観光振興、利便性向上の観点から、JR九州としてブラッシュアップした上で、次回の復旧会議で議論する ・3月末までに復旧会議を開催し、復旧方針の合意を目指す
2020.2.25	大臣・鉄道局長国会答弁	「災害被災した鉄道の復旧に関しては、最終的には鉄道事業者が自らの判断のもと決定する」旨の国会での答弁
2020.2～3	JR九州による住民説明会	添田町 彦山地区（2.25）・添田町 樹田地区（2.27）・日田市（3.1） 添田町 添田地区（3.3）
2020.3.13 2020.3.14	知事の首長訪問	東峰村 澁谷村長と意見交換 添田町 寺西町長と意見交換
2020.3.22	村による住民報告会	東峰村 新型コロナウイルスの影響により村のケーブルテレビを通じて報告会を実施
2020.3.25	予算特別委員会	知事は、3月末までに復旧方針を決めるのは難しい状況、と答弁
2020.5.16	知事の東峰村訪問	・知事より、東峰村長に「鉄道復旧断念」のお詫びを伝えたくうえで、「BRT延伸案」を提案 ・東峰村長は、知事に住民への直接説明を求める
2020.5.24	知事による東峰村住民説明会	・知事より、東峰村住民に対し、「鉄道復旧断念」のお詫びを伝えたくうえで、「BRT延伸案」を提案
2020.5.24	知事の添田町訪問	・知事より、添田町長に「鉄道復旧断念」のお詫びを伝えたくうえで、「BRT延伸案」を提案
2020.5.26	東峰村長による住民報告会等	・住民報告会で東峰村長より、BRT延伸案の受け入れ表明 ・添田町長も、同日、BRT延伸案を了承（6月8日の町議会で受け入れを表明）※福岡県側の復旧方針（BRT延伸案）がまとまる。（大分県側はBRTについてはすでに了承済み）
2020.6.2	JR九州への要請	・知事、議長連名で、青柳社長に対し、「BRT延伸案での早期復旧と将来に亘っての維持」を要請
2020.6.18	青柳社長の東峰村訪問	・JR九州青柳社長が東峰村澁谷村長と会談（内容についての正式なコメントはなし）

[今後の予定（日時は未定）]
・知事、議長の要請に対する JR九州からの回答
・回答内容で合意できれば、関係者と調整し、復旧会議を開催

4.11 蜂屋なべとう
養蜂場視察

川崎町を中心に養蜂を営んでいる鍋藤修治さんの養蜂場を視察しました。国内消費量のうち国産蜂蜜の割合は約7%程度。そして植物や野菜の交配に蜜蜂はなくてはならない存在です。田川産の蜂蜜として、地産地消が進むよう私もがんばります。

5.30 在福岡台湾弁事處
医療用マスク等贈呈

昨年より始まった田川地域と台湾との交流事業のご縁により、福岡市にある台湾経済文化弁事處の陳忠正所長、九州在住の台湾出身医療関係者らでつくる西日本台湾学友会の林紀全さんから医療用マスク・フェイスガードを頂きました。

5.21 筑豊スローフード
マーケット食にん市

田川地域を中心に筑豊地域のおいしい食材などを販売している「食にん市」。地道な活動によって素晴らしいマーケットとして知られるようになっていきます。毎週木曜日16時～18時、田川市伊田・新橋近く彦山川沿いで行っています。

6.21 棟上げ・餅まき



この日は、日頃からの支援者の方の棟上げにお呼ばれし、餅投げも担当しました。新築の時、棟上げや餅まきを行う家は、めっきり少なくなりました。この日は子どもや地域の方、友人など沢山の方が集まっており、久しぶりの棟上げを楽しみました。

4 月活動報告

- 1 離任・転任者挨拶対応
- 2 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）/ 予算特別委員会理事会（福岡市）
- 3 終日地元陳情対応
- 5 行橋市議会議員選挙 出陣式（行橋市）
- 7 県議会文教常任委員会正副委員長勉強会（福岡市）
- 8 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）
- 11 蜂屋なべとう養蜂場視察
- 13 県議会議会広報紙編集会議（福岡市）
- 14 社会民主党福岡県連合県庁要請行動（福岡市）
県議会文教常任委員会（福岡市）/ 県議会会派議員総会（福岡市）
- 15 市役所陳情対応
- 16 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）
- 17 県議会議会広報紙編集会議（福岡市）
議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 23 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）
県議会議会運営委員会（福岡市）
県議会議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 24 福岡県建設労働組合要請行動
- 27 無料法律相談
- 28 飯塚農林事務所陳情
- 30 県議会文教常任委員会（福岡市）/ 県議会臨時議会（福岡市）
県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）/ 県議会会派政策審議会（福岡市）/ 県議会議員提案政策条例検討会議（福岡市）

5 月活動報告

- 1 県議会臨時議会（福岡市）/ 県議会文教常任委員会（福岡市）
- 6 連合後援会会議
- 7 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）
- 8 終日市民相談活動
- 9 終日市民相談活動
- 11 終日市民相談活動
- 12 終日市民相談活動
- 13 終日市民相談活動
- 14 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）
- 15 終日市民相談活動
- 19 民間企業社員研修講師
- 20 終日市民相談活動
- 21 県議会臨時議会（福岡市）/ 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）/ 県議会会派政策審議会（福岡市）/ 筑豊スローフードマーケット食にん市
- 22 終日市民相談活動
- 25 終日市民相談活動
- 26 県議会議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 27 県議会議員提案政策条例検討会議（福岡市）
農業助成金に関する県農林事務所説明会
- 28 終日市民相談活動
- 29 県議会臨時議会（福岡市）
県議会議会運営委員会（福岡市）
県議会会派総会（福岡市）/ 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）/ 県議会議会広報紙編集会議（福岡市）
- 30 在福岡台湾弁事處医療用マスク等贈呈

6 月活動報告

- 2 県議会農林水産委員会 管内視察動向（飯塚市・嘉麻市）
- 3 終日市民相談活動
- 4 筑豊地区舗装協会新年度要請行動帯同
- 5 県議会本会議（福岡市）/ 県議会議会運営委員会（福岡市）/ 県議会文教常任委員会勉強会（福岡市）
原水禁福岡県民会議要請行動（福岡市）
- 6 田中製粉視察（八女市）
- 8 終日県議政務活動（福岡市）
- 9 県議会議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 10 県議会会派政策審議会（福岡市）
- 11 県議会本会議（福岡市）
- 12 県議会本会議（福岡市）/ 県議会議員提案政策条例検討会議（福岡市）/ 県議会議会運営委員会（福岡市）
- 15 県議会本会議（福岡市）/ 福岡県産炭地域活性化対策議員連盟総会（福岡市）/ 福岡県議会タイ友好議員連盟役員会（福岡市）
- 16 県議会本会議（福岡市）
- 17 県議会本会議（福岡市）
- 18 県議会本会議（福岡市）/ 県議会文教常任委員会（福岡市）
- 19 県議会議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 20 鳥越農園視察（赤村）
- 21 棟上げ・餅まき
- 22 終日県議政務活動（福岡市）
- 23 終日県議政務活動（福岡市）
- 24 県議会本会議（福岡市）
- 26 子育て支援・人材育成調査特別委員会（福岡市）
- 30 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）

福岡
県議会議員 佐々木まこと 允プロフィール

- 1981年5月6日生まれ
- 田川市立猪位金中学校卒業・福岡県立東鷹高校卒業
- 龍谷大学法学部政治学科卒業
- 北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)
- 社会福祉法人猪位金福祉会入社
- 田川市議会議員当選(25歳 全国最年少)
- 田川市議会議員2期目当選(29歳)
- 福岡県議会議員初当選(33歳) ●福岡県議会議員2期目当選(37歳)
- 民主県政クラブ県議団
- 文教常任委員会 副委員長
- 議会運営委員会理事
- 子育て支援・人材育成調査特別委員会 委員
- 福岡県県営住宅管理審議会会長代行

第48回

弁護士
による 無料法律相談開催

担当弁護士：田川市役所前法律事務所 森竹 卓郎弁護士 （相談は1人1回まで）

開催日程 **7月29日(水)** 17:00～(1回30分程度)
佐々木まこと事務所にてご予約連絡先 **0947-85-9015** ※ご希望の方は7月28日(火)までに事務所までご一報下さい

佐々木まこと事務所

〒825-0002 田川市伊田4510-6

tel 0947-85-9015

fax 0947-85-9007



佐々木 まこと

検索

ホームページ



LINE@

